別表（２－4）

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和4年度　商業実務専門課程　（ホテル・ブライダル学科）

専門・一般		年次	学期	科目区分	分類 必修	分類 選択必修	分類 自由選択	授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法 講義	授業方法 演習	授業方法 実験・実習・実技
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	専門	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	後期	専門	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		2	前期	専門	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○		
		1	前期	専門	○			ＦＢ実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		1	後期	専門	○			ＦＢ実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		2	前期	専門	○			ＦＢ実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○	
		1	前期	専門	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
		1	後期	専門	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
		2	前期	専門	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○		
	インベウンド対応のできる英語力を習得する	1	前期	専門	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○	
		1	前期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆ＲⅠA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○	
		1	後期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆ＲⅠB	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○	
		2	前期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｌ＆ＲⅡA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○	
		1	前期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｓ＆ＷⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○	
		1	後期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｓ＆ＷⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門			○	ＴＯＥＩＣ　Ｓ＆ＷⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ＥＩＣ　Ｌ＆ＳⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	
		1	後期	専門	○			ＥＩＣ　Ｌ＆ＳＩＢ	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	
		2	前期	専門	○			ＥＩＣ　Ｌ＆ＳⅡA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○	

	サービス業に求められる知識と技能を習得する	1	前期	専門	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			サービス接遇ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○	
		2	前期	専門			○	フラワーアレンジメントⅡA	婚礼で必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○	
		1	前期	専門			○	ブライダルビューティⅠA	婚礼で必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門			○	ブライダルビューティⅠB	婚礼で必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		2	前期	専門	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○	
		1	前期	専門			○	色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
		1	後期	専門			○	色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○	
		1	前期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○	
		1	後期	専門	○			ウエディングスビューティフルⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○	
	現場力・実践力を身に付ける	2	後期	専門		○		インターンシップ（海外）ⅡB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○
		2	後期	専門		○		インターンシップ（国内）ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	450	10			○
一般		2	前期	一般			○	ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、 プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		2	前期	一般			○	ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
		1	前期	一般			○	ＮＩＢⅠA	新聞を通し、地域の知識を学ぶと共に、読解力、思考力、プレゼン力、グループ討議力や、社会性、創造性、国際性を身に付ける。	30	1		○	
		1	前期	一般			○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
		1	前期	一般	○			キャリア支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
		1	後期	一般	○			キャリア支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
		2	前期	一般	○			キャリア支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、 キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○	
		1	前期	一般			○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		1	後期	一般			○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
		2	前期	一般			○	データマーケティングⅡA	POSデータやドルフィンアイなどのビックデータを生かし、マーケティング観点からの課題解決方法について学ぶ	30	1		○	

合計	44 科目		2430 単位時間	80 単位）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：　61単位取得　　GPA2.0以上 必修科目を取得していること 選択必修科目のどちらかを取得していること	１学年の学期区分	2　期
	１学期の授業期間	15　週

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＡ						学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得							
授業内容	ホテル産業の基礎的知識を学習する							
学習目標	今後さらにグローバル化する地域、社会におけるホテル産業の重要性とホテルの宿泊、料飲、宴会、調理各部門（すなわち営業部門）を具体的に理解する							
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編							

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第1章 ホテルの基礎 □ホテルとは	【事前】	ホテル産業について予習
		【事後】	ホテル調査
2	第1章 ホテルの基礎 □欧米の歴史	【事前】	欧米のホテルの歴史について
		【事後】	ホテル調査のレポート提出
3	第1章 ホテルの基礎 □日本の発展史	【事前】	日本のホテル発展史
		【事後】	課題提出
4	第1章 ホテルの基礎 部門別機能□ホテルの組織、サービスの基	【事前】	サービスの基本
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
5	第1章 ホテルの基礎 部門別機能□ホテルの組織、関連法規	【事前】	ホテルの組織について
		【事後】	ホテル調査
6	第1章 ホテルの基礎 将来展望 今後の課題 □トレンド調査	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
7	第1章 ホテルの基礎 □国際儀礼の基本	【事前】	プロトコール
		【事後】	課題提出
8	第1章 ホテルの基礎 □ホスピタリティマインド	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
9	第1章 ホテルの基礎 □ホテル関連知識	【事前】	第１章ホテルの基礎 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
10	第2章 宿泊部門の業務□宿泊部門の概要	【事前】	宿泊部門の概要
		【事後】	課題提出
11	第2章 宿泊部門の業務 □宿泊商品の特性	【事前】	宿泊部門の特性
		【事後】	課題提出
12	第2章 宿泊部門の業務 □組織と業務役割	【事前】	ホテル調査
		【事後】	レポート提出
13	第2章 宿泊部門の業務 □宿泊商品の基本知識	【事前】	宿泊商品
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
14	第2章 宿泊部門の業務 □担当者業務	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
15	第2章 宿泊部門の業務 □まとめ	【事前】	第1章・2書のまとめ
		【事後】	前期期末試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視ー私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりした緊張のない姿勢は失格）などを重視
	3. テストその 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	

目標検定・課外授業実施予定・	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえてホテルコースは2年次に実施予定の「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。 企業連携を通して、企画提案や商品開発などの実践を行う。

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する基礎知識を習得し、「ホテルビジネス実務検定ベーシック２級」に合格する								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第3章 料飲部門の業務□料飲部門の特性	【事前】	料飲部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第3章 料飲部門の業務□料飲部門の組織	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第3章 料飲部門の業務□料飲部門の業務役割	【事前】	料飲部門の基本知識
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
4	第3章 料飲部門の業務□料飲部門の基本知識	【事前】	料飲部門の業務
		【事後】	課題提出
5	第3章 料飲部門の業務□料飲部門の担当業務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	ホテル・旅館調査
6	第3章 料飲部門の業務□料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	小テスト
7	第3章 料飲部門の業務□料飲実務の実務	【事前】	料飲部門の実務
		【事後】	レポート提出
8	第3章 料飲部門の業務□第3章のまとめ	【事前】	料飲部門のまとめ
		【事後】	第3章テスト
9	第4章 宴会部門の業務 □宴会商品の特性	【事前】	宴会部門の特性
		【事後】	課題提出
10	第4章 宴会部門の業務 □宴会部門の組織	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
11	第4章 宴会部門の業務□宴会部門の業務	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	課題提出
12	第4章 宴会部門の業務□宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の組織と業務役割
		【事後】	小テスト
13	第4章 宴会部門の業務 □宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の実務
		【事後】	課題提出
14	第4章 宴会部門の業務 まとめ　宴会部門の実務	【事前】	宴会部門の担当者業務
		【事後】	小テスト
15	第4章 宴会部門の業務 まとめ	【事前】	第3章・4章まとめ
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりしたした緊張のない姿勢は失格）などを重視
	3. テストその 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	ホテル概論ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	ホテル産業の基礎的知識を学習する								
授業内容	宿泊産業の中のホテルについて、現場で実際に起こる事例を交え歴史（外国、日本）、種類、社会的役割、構成内容（部門別）、専門用語の理解などホテル産業に携わるための知識を習得								
学習目標	ホテルに関する知識の習得								
使用テキスト	ホテルビジネス基礎編								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性①制約要件からくる特性	【事前】	調理部門の特性
		【事後】	課題提出
2	第5章 調理部門の業務 調理部門の特性②メニュー開発・経費か	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
3	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割①調理部門の	【事前】	調理部門の組織
		【事後】	小テスト
4	第5章 調理部門の業務 調理部門の組織と業務役割②料理部門の	【事前】	メイン・宴会・レストラン・製菓の各業務
		【事後】	課題提出
5	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務①調理の種類・施設・設	【事前】	ホテル・旅館調査
		【事後】	レポート提出
6	第5章 調理部門の業務 調理部門の実務②西洋料理の基礎知識	【事前】	西洋料理の基礎知識
		【事後】	小テスト
7	第5章 調理部門の業務 担当業務①西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	課題提出
8	第5章 調理部門の業務 担当業務②西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	小テスト
9	第5章 調理部門の業務 担当業務③西洋料理の主な担当者業務	【事前】	西洋料理の主な担当者業務
		【事後】	第5章 調理部門のまとめ
10	第5章 調理部門のまとめ	【事前】	第5章の復習
		【事後】	小テスト
11	第1章・2章の復習	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
12	第3章・4章の復習	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
13	検定試験対策　1章・2章	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
14	検定試験対策　3章・4章	【事前】	練習問題
		【事後】	ホテルビジネス実務検定試験対策復習
15	検定試験対策　5章	【事前】	復習問題
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	ホテル業界の理解、ホテルの基礎の習得、ホテルに関する調査レポート・授業の課題提出
	2. 授業姿勢 30 %	集中力、社会人予備軍としてのマナー、態度を重視＝私語、居眠り、姿勢（たとえば見えないと思って靴を脱いだり、脚を組んだりしたした緊張のない姿勢は失格）などを重視
	3. テストその 40 %	筆記文によるテストは読む人にわかり易く、誤字脱字がないように読み返す気配りがある学生
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。	

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ＦＢ実習ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	接客の基本□レストランサービス要員に求められる資質□･ 身体的資質□･ 知的資質
2	接客の基本□レストランサービス要員に求められる資質□･ 精神性と道徳性□･ プロフェッショナルとしての
3	接客の基本□資質を生かす具体的行動指針□･ 協調性□･ 品格のある行動
4	接客の基本□職務上の容姿、服装□･ 制服□･ 身だしなみ
5	接客の基本□･ レストランの要員とそれぞれの任務□･ 各種サービス準備の作業□･ 施設の整備
6	接客の基本□接遇動作□･ 諸準備を完了してお客様を迎える□･ 接客にあたって
7	什器備品□･ 什器備品の種類、名称、用途
8	食器の取扱いと管理□･ 取扱い上の留意点
9	レストランの管理業務□･ オープン前の準備□･ クローズ後の業務□客席案内
10	メニュー作成□･ メニューの構成
11	ランチイベント
12	ランチイベント
13	ランチイベント
14	ランチイベント
15	ランチイベント振返り□

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿　30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ　40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ＦＢ実習ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	レストラン運営□･ 商品化計画
2	レストラン運営□･ セールス
3	レストラン運営□･ 販売促進、広報
4	テーブル上での事故対処□救護方法
5	注文□･ 注文の受け方□･ 販売促進
6	料理の運搬□･ 食器類の運搬及び持ち方□･ 料理の運搬及び持ち方□･ 歩行動作
7	テーブルサービス□･ 料理、飲物に応じたテーブルサービスの方法
8	食器類の片付け方法□･ 皿とナイフ、フォーク□･ グラス
9	テーブル上での事故対処□救護方法
10	サービス実技トレーニング□シミュレーション
11	ランチイベント
12	ランチイベント
13	ランチイベント
14	ランチイベント
15	ランチイベント振返り□

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿　30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ　40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	ＦＢ実習ⅡＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティングの重要性の理解とレストランの企画・運営が出来る								
授業内容	地域の食材を使用したメニュー開発や調理サービス方法、実務を学ぶ								
学習目標	ランチイベントの企画・運営								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	メニュー考案□･ 市場調査□･ コンセプト
2	メニュー考案□･ 提案書作成
3	提案書の発表
4	レストラン運営□･ 商品化計画
5	苦情処理□･ 料飲接遇サービスにおける苦情処理
6	苦情処理□･ 受客の拒否□･ スキッパーなど
7	レストラン運営□･ セールス□･ 販売促進、広報
8	サービス実技トレーニング□･シミュレーション
9	サービス実技トレーニング□･シミュレーション
10	ランチイベント リハーサル
11	ランチイベント
12	ランチイベント
13	ランチイベント
14	ランチイベント
15	ランチイベント振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	ランチ営業に向けての準備資料、アイデア等からの企画書、提案書から評価する
	2. 授業姿　30 %	授業態度、積極性・協調性などから評価する
	3. テストそ　40 %	レポート、テスト結果等を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダル総論ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	ウェディングプランナーとして必要な基礎知識を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	AWP検定に合格し、ブライダル業務全般を理解する								
使用テキスト	ウエディングプランナーテキスト								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	ヒューマン概論・歴史概論	【事前】	ブライダル産業について予習
		【事後】	ブライダル調査
2	言語概論・プレゼンテーション	【事前】	結婚式の歴史について
		【事後】	ブライダル調査のレポート提出
3	接客概論・ロールプレイング	【事前】	結婚式の発展
		【事後】	課題提出
4	実務概論	【事前】	サービスの基本
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
5	タイムスケジュール・見積書	【事前】	結婚式の組織について
		【事後】	ホテル調査
6	テーブルプラン	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
7	席次表と続柄	【事前】	トレンド調査
		【事後】	課題提出
8	オリジナルプラン作成	【事前】	結婚式場調査
		【事後】	レポート提出
9	オリジナルプラン提案	【事前】	まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
10	クリエイティブ概論	【事前】	結婚式場調査
		【事後】	課題提出
11	広告・企画概論	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	課題提出
12	経済概論	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	レポート提出
13	披露宴の役割	【事前】	ブライダル商品
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
14	披露宴の役割	【事前】	第2章宿泊部門 まとめ
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
15	模擬披露宴	【事前】	まとめ
		【事後】	前期期末試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿勢　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストその　40 %	期末テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ホテル概論ＩＢ						学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する							
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ							
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する							
使用テキスト	ウエディングプランナーテキスト							

週数	授業計画	事前･事後の学習	
1	ブライダルに関わる人々の役割	【事前】	サービス部門の特性
		【事後】	課題提出
2	ブライダルストーリー：集客・告知	【事前】	ホテル結婚式調査
		【事後】	レポート提出
3	ブライダルストーリー：計画の基礎（マーケティング）	【事前】	サービス部門の基本知識
		【事後】	検定試験問題集による小テスト
4	ブライダルストーリー：ビジネスパートナー選定	【事前】	プランナーの業務
		【事後】	課題提出
5	ブライダルストーリー：ブライダル現場における用語、必要知	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	ホテル結婚式調査
6	ブライダルストーリー：プランニング・コンセプトシート作成	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	小テスト
7	ブライダルストーリー：会場レイアウト・会場装飾プランニン	【事前】	プランナーの実務
		【事後】	レポート提出
8	ブライダルストーリー：コンセプトシートプレゼンテーション	【事前】	まとめ
		【事後】	小テスト
9	ブライダルストーリー：婚礼見積書の作成	【事前】	プロデューサーの特性
		【事後】	課題提出
10	ブライダルストーリー：新規接客の基本・ロールプレイング	【事前】	プロデューサー業務の役割
		【事後】	小テスト
11	ブライダルストーリー：パートナー選定、パートナーとのキッ	【事前】	ホテル結婚式の調査
		【事後】	課題提出
12	ブライダルストーリー：婚礼打合せ① 全体説明、見積り、招待	【事前】	プロデューサー業務の役割
		【事後】	小テスト
13	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務① 招待状の発注、	【事前】	プランナー以外の実務
		【事後】	課題提出
14	ブライダルストーリー：婚礼打合せ②の準備 コンセプトシート、プランニング基礎作成　料理、飲料、装花装飾、演出、写真、映像、引出物等	【事前】	プランナー以外の業務
		【事後】	小テスト
15	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務② 書類作成、各種	【事前】	まとめ
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 夢を叶える仕事におけるビジネス感覚
	2. 授業姿勢 30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力
	3. テストその 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・	校外実地見学・研修等を経験（見る・聞く・行う）することによって、ホテルサービスに関する初歩的業務機能を実践的に学ぶことが可能。 そのことを踏まえて「ホテルビジネス検定試験：ベーシック2級」の合格を目指した効果的対応を図る。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	ホテル概論ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	実際の新郎新婦の結婚式をプロデュースすることで、ブライダル業界の仕組み、ブライダルプロデュースの一連の流れ、役割、理由を学習する								
授業内容	ウェディングプランナーの役割、具体的業務内容、業務の流れなど仕事に携わるために必要な専門知識を、現場で実際に起こる事例を交え学ぶ								
学習目標	ブライダル業界の専門家達との仕事を通じたやり取りの中で、各業種、仕事への理解を深め、今後の進路選択の参考とすることが可能となることを理解する								
使用テキスト	ウエディングプランナーテキスト								

週数	授業計画	事前・事後の学習	
1	前期の振り返り	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	課題提出
2	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	レポート提出
3	ブライダルストーリー：婚礼会場との打合せ、情報共有	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	小テスト
4	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③の準備 最終版資料作成、	【事前】	ブライダルのトレンド
		【事後】	課題提出
5	ブライダルストーリー：婚礼打合せ③ 司会打合せ、当日に向け	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	レポート提出
6	ブライダルストーリー：婚礼打合せ後の業務③ 書類作成、各種	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	小テスト
7	ブライダルストーリー：最終確認 パートナー個別最終打ち合わ	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	課題提出
8	ブライダルストーリー：最終確認 リハーサル	【事前】	フォトウエディング
		【事後】	小テスト
9	ブライダルストーリー：最終確認 会場・パートナー打合せ	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	まとめ
10	ブライダルストーリー：搬入、準備	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	小テスト
11	ブライダルストーリー：前日リハーサル・会場確認・手配物確認	【事前】	レストランウエディング
		【事後】	検定問題
12	ブライダルストーリー：本番	【事前】	練習問題
		【事後】	検定問題
13	ブライダルストーリー：反省会 オペレーション、業績、改善案	【事前】	練習問題
		【事後】	過去問
14	ブライダルストーリー：ビジネスパートナーとの反省会 次年度	【事前】	練習問題
		【事後】	過去問
15	ブライダルストーリー：振返りディスカッション	【事前】	復習問題
		【事後】	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　30 %	実際のお客様の一生に一度の結婚式を手掛けることへの責任、自身のモチベーション もっと素敵な結婚式にするための情報、企画、提案、実現力 夢を叶える仕事におけるビジネス感覚
	2. 授業姿勢 30 %	積極性・協調性・創造性・実現力・責任感・リーダーシップ・ドキュメント力
	3. テストその 40 %	授業内容に対するレポート ブライダルストーリーに向けての準備資料 授業以外におけるアイデア等からの企画書、提案書
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・		

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル実用英語 ＩＡ							学期	前　期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスで必要な								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスで必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書く								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								

週数	授業計画
1	・オリエンテーション : ①「授業の目的と目標」②「英語学習における基本的姿勢」③「アクティブラーニングと
2	Unit 1: Welcoming Guests
3	Unit 2: Welcoming Guests with no reservation
4	Unit 3: "Difficult" Guests
5	Unit 4: Looking after Guests (1)
6	Unit 5: Looking after Guests (2)
7	Unit 6: Reservation Inquiries
8	Unit 7: Reservation changes
9	Unit 8: Phone Calls to Reception
10	Unit9: Communication Problems
11	Unit 10: Gues Problems
12	Unit 11: At Breakfast
13	Unit 12: At the Bar
14	Unit 13: Complaints from Guests at the Bar
15	Unit 14: In the Restaurant (1)

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課 題　40 ％	指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況を評価します
	２．授業姿 30 ％	出欠および授業への参加姿勢を評価します
	３．テスト 30 ％	毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。⑪発音クリニック⑫簡	

ホテル・ブライダル 学科　　1　年

科 目 名	ホテル実用英語 ＩＢ							学期	後　期
担当教員	松倉 基晴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテルにおける各現場（フロント・レストラン・客室等）で想定される場面において、接客サービスで必要な								
授業内容	ホテルスタッフと顧客とのロールプレイ形式を中心としたアウトプット型の演習								
学習目標	ホテルにおける各現場における接客サービスで必要な基礎的な語彙・表現に習熟し、読む・聞く・話す・書く								
使用テキスト	Hotel & Hospitality English by Mike Deymour, Harper Collins を軸に、適宜、補助プリント等を使用する								

週数	授業計画
1	Unit 14: In the Restaurant (1)※TOEIC Bridge Test の模擬試験による実力測定
2	Unit 15: In the Restaurant (2)
3	Unit 16: In the Restaurant (3)
4	Unit 17: Housekeeping
5	Unit 18: Housekeeping Problems
6	Unit 19: Room Service
7	Unit 20: Guest Services
8	Unit 21: In the Business Center
9	Unit 22: Recommendations for places to eat
10	Unit 23: Checking Out
11	Unit 24: Problems in Checking Out
12	Review by Resouece Bank: Key Phrases, Key Words
13	Review by Resouece Bank: How do I say . . . ?
14	Review by Resouece Bank: On the Phone
15	Review by Resouece Bank: Model Emails

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課 題　40 ％	指定する課題（ロールプレーによる発表を含む）への取り組み状況を評価します
	２．授業姿 30 ％	出欠および授業への参加姿勢を評価します
	３．テスト 30 ％	毎回の授業で行うミニテストの結果を評価します
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	テキストの各ユニットのロールプレーが中心ですが、そのほかに、以下の演習を行います。⑪発音クリニック⑫簡	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	TOEIC L&R IA（High)							学期	前	期
担当教員	M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習目的	This course aims to have the students familiarized with the TOEIC L&R Test while covering a variety									
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming f									
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class wi									
使用テキス	English at Work: Book 1									

週数	授業計画
1	Unit 1: Job Interviews: Describing Experience
2	Unit 2: Socializing with Confidence: At Dinner
3	Unit 3: Communicating on the Phone: Messages
4	Reivew
5	Unit 4: Job Hunting: Companies
6	Unit 5: Business Writing: Quotations and Orders
7	Unit 6: Powerful Presentations: Reporting the News
8	Reivew
9	Unit 7: Participating in a Meeting: In the Meeting
10	Unit 8: Introducing Companies and Products:
11	Unit 9: Company Information
12	Review
13	Unit 10: Negotiating for Success: Discussing Price
14	Unit 11: Traveling on Business: Flying
15	Unit 12: Solving Problems: Everyday Problems

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題　30 ％	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	２． 授業姿 30 ％	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	３． テスト 40 ％	Tests: Review quizzes after completing three units
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.	

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	TOEIC L&RⅠB (High)							学期	後 期
担当教員	M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students for the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with l								
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar wi								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class wi								
使用テキス	English at Work: Book 2								

週数	授業計画
1	Unit 1: Communicating on the Phone: Meeting (Re)arrangements
2	Unit 2: Introducing Companies and Products: Consumer Problems
3	Unit 3: Socializing with Confidence: Icebreaking, Do's and Don'ts
4	Review
5	Unit 4: Job Interviews: Interview Skills
6	Unit 5: Business Writing: Advertising
7	Unit 6: Job Hunting: Looking Online
8	Review
9	Unit 7: Powerful Presentations: Pitching
10	Unit 8: Participating in a Meeting: Wrapping Things Up
11	Unit 9: Negotiating for Success: Making a Deal
12	Review
13	Unit 10: Traveling on Business: Trade Shows
14	Unit 11: Technology: Social Media
15	Unit 12: Solving Pvoblems: Business Problems

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	２． 授業姿 30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	３． テスト 40 %	Tests: Review quizzes after completing three units
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.	

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	２ 年

科 目 名	TOEIC L&R IIA (High)							学期	前 期
担当教員	M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	This course aims to have the students prepared for the TOEIC L&R Test by covering a variety of bus								
授業内容	The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming f								
学習目標	Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class wi								
使用テキス	Work Advantage - Concept, Practice, Reality: Book 1								

週数	授業計画
1	1 Team Spirit
2	Unit 2 Forming aTeam
3	Unit 3 Working with the World
4	Review 1 (Units 1-3)
5	Unit 4 Business Strategies
6	Unit 5 Understanding Your Customers
7	Unit 6 Work Smart
8	Review 2 (Units 4-6)
9	Unit 7 Corporate Image
10	Unit 8 Company Profits
11	Unit 9 Tactical Decisions
12	Review 3 (Units 7-9)
13	Unit 10 Human Resources
14	Unit 11 Entrepreneurship
15	Unit 12 The Future of Business

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.
	２． 授業姿 30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.
	３． テスト 40 %	Tests: Review quizzes after completing three units
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	The students will take a TOEIC L&R Test in January 2023.	

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	TOEIC S&W I A							学期	前	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills									
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are stud									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangem									
使用テキス	English Firsthand Acess with My Mobile World_Student Book / Passport to Work_Course Book / Passport to									

週数	授業計画
1	English Firsthand, Access Unit 1: How are you? Passport to Work Unit 1: I'm in the computer business
2	English Firsthand, Access Unit 2: Do you understand? Passport to Work Unit 2: No, he's the boss!
3	English Firsthand, Access Unit 3: This is my room. Passport to Work Unit 3: This is where we have lunch
4	English Firsthand, Access Unit 4 : When do you get up? Passport to Work Unit 4: Can I use your phone?
5	English Firsthand, Access Unit 5: Who's that? Passport to Work Unit 5: How about some coffee?
6	English Firsthand, Access Unit 6: That's a great shirt! Passport to Work Unit 6: Can you meet me at the airport?
7	English Firsthand, Access Unit 7: I love weekends! Passport to Work Unit 7: I'll take care of'it
8	English Firsthand, Access Unit 8: Let's eat! Passport to Work Unit 8: What are the sales figures?
9	English Firsthand, Access Unit 9: I really enjoy it! Passport to Work Unit 9: Do you have an e-mail address?
10	English Firsthand, Access Unit 10: Welcome to my home. Passport to Work Unit 10: I'd like to work overseas
11	English Firsthand, Access Unit 11: Where did you go? Passport to Work Unit 11:What's your job like?
12	English Firsthand, Access Unit 12: Will I be famous?r Form & Email Passport to Work Unit 12: Would you like me t
13	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 13: What's the budget for the website?
14	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 14: I'll meet you at the north exit
15	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 15: Good luck in your new job!

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	２． 授業姿 30 %	positive engagement in pair/group work
	３． テスト 30 %	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実		

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	TOEIC S&W I B							学期	前 期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills								
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are stud								
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangem								
使用テキス	English Firsthand Success with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?								

週数	授業計画
1	Success Unit 1: What's your name? Whaddaya Say? Unit 1: How's Your Femiey?
2	Success Unit 2: I love fashion! Whaddaya Say? Unit 2: Yours Is a Great Job!
3	Success Unit 3: How do you stay healthy? Whaddaya Say? Unit 3: I Have the Pertect Car for You
4	Success Unit 4: How do I get there? Whaddaya Say? Unit 4: Where Are the Bags of Chips?
5	Success Unit 5: What's that? Whaddaya Say? Unit 5: Do You Like the Internet?
6	Success Unit 6: What's your dream? Whaddaya Say? Unit 6: Let's Go Shopping
7	Success Unit 7: It was great! Whaddaya Say? Unit 7: What Are You Deing This Weekend?
8	Success Unit 8: How much do you know? Whaddaya Say? Unit 8: I Want to Have a Hamburger
9	Success Unit 9: She can really sing! Whaddaya Say? Unit 9: We're Going to See "The Monster That Ate Cleveland
10	Success Unit 10: What do you like to do? Whaddaya Say? Unit 10: Can You See the Stage?
11	Success Unit 11: Of course you can. Whaddaya Say? Unit 11: What Can I Get You for Your Cold?
12	Success Unit 12: What happened next? Whaddaya Say? Unit 12: Take Bus 4 to Second Street
13	Success : Review Whaddaya Say? Unit 13: I'm Going to Try to Find a Job
14	Success : Review Whaddaya Say? Unit 14: I've Got to Check Your Teeth
15	Success : Review Whaddaya Say? Unit 15: I Used to Be an Engineer for the Railroad

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	２． 授業姿 30 %	positive engagement in pair/group work
	３． テスト 30 %	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実		

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	TOEIC S&WⅡA							学期	前 期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	This course focuses on practical English in our daily lives. It aims to brush up on speaking and writing skills in								
授業内容	The language areas presented are taught within a comunicative framework and most of the activities are stud								
学習目標	The goal is to gain communicative competence in basic daily conversations with spontaneity.								
使用テキス	English Firsthand Book 1 with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?								

週数	授業計画
1	English Firsthand, Book 1 Unit 1: It's nice to meet you.
2	English Firsthand, Book 1 Unit 2: Who are they talking about?
3	English Firsthand, Book 1 Unit 3: When do you start?
4	English Firsthand, Book 1 Unit 4 : Where does this go?
5	English Firsthand, Book 1 Unit 5: How do I get there?
6	English Firsthand, Book 1 Unit 6: What happened?
7	English Firsthand, Book 1 Unit 7: I'd love that job.
8	English Firsthand, Book 1 Unit 8: What's playing?
9	English Firsthand, Book 1 Unit 9: What are you going to do?
10	English Firsthand, Book 1 Unit 10: How much is this?
11	English Firsthand, Book 1 Unit 11: How do you make it?
12	English Firsthand, Book 1 Unit 12: Listen to the music.
13	English Firsthand, Book 1: Review
14	English Firsthand, Book 1: Review
15	English Firsthand, Book 1: Review

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)
	２． 授業姿 30 %	positive engagement in pair/group work
	３． テスト 30 %	tests in My Mobile World
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実		

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	EIC L&S ⅠA							学期	前 期
担当教員	TBA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skil								
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループ								
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる								
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama （とやま英語ハンドブック） ※学校独自に製作した動画を使用								

週数	授業計画
1	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生① The circulation of precious water／かけがえのない命
2	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生② Eff orts to live in harmony with nature／自然と人間の
3	Chapter 1 Living in harmony with nature 自然と人間の共生③ Tateyama and Kurobe, treasures of Toyama／富山の
4	Reivew & Presentation * Chapter 1の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行
5	Field Work：富山県内の観光名所①
6	Field Work：富山県内の観光名所②
7	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災① Forests and dams to prevent landslides／山々の崩れを防ぐ
8	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災② Overcoming disasters and modern city planning／災害の克服
9	Chapter 2 Safety & Disaster Prevention 安全・防災③ Overcoming a pollution disease／公害を乗り越えて
10	Reivew & Presentation * Chapter 2の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行
11	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学① Human resources and the modern industry developed by the pharmace
12	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学② Toyama, a prefecture of manufacturing／ものづくり県富山
13	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学③ Endeavors and achievements by scientists／科学者たちの努力と功績
14	Chapter 3 Industry & Science 産業・科学④ Land, sea and air transportation networks／陸・海・空の交通ネットワ
15	Reivew & Presentation * Chapter 3の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを行

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１． 課 題 30 %	Dictation（書き取り）のほか、暗唱、朗読などの Recitation （口頭発表）、ロールプレイ 、グループワークを評価します
	２． 授業姿 30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようとする態度などです。
	３． テスト 40 %	各単元（Unit）終了ごとに Mini Test を行います
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。後期1月にTOEIC テストを実施します	

ホテル・ブライダル 学科	2年課程	1 年

科 目 名	EIC L&S ⅠB							学期	前	期
担当教員	TBA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	富山の観光名所・特産品・文化・芸術について英語で学習することを通して、英語Listening & Speaking Skil									
授業内容	各単元の「単語・熟語」「重要表現に発音やリズム」等についてロールプレー中心にペアワーク・グループ									
学習目標	英語による富山の観光名所や特産品の説明を理解するとともに、訪日観光客へ英語で説明できるようになる									
使用テキスト	Let's talk about KITOKITO Toyama （とやま英語ハンドブック） ※学校独自に製作した動画を使用									

週数	授業計画
1	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史①The beauty of traditional buildings and their meaning in m
2	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史②Rich local culture／豊かな郷土文化
3	Chapter 4 Traditional Culture & History 伝統文化・歴史③The ancient history of Toyama ／「越の国」から越中、
4	Reivew & Presentation * Chapter 3〜4のなかから個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーショ
5	Field Work：富山県内の観光名所③
6	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術①Etchu Man'yo : Beautiful scenery of Etchu ke
7	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術②A prefecture advanced in the arts／芸術の先
8	Chapter 5 Literature & Contemporary Art 文学・現代芸術③Leaders in literature／文学創造の担い手
9	Reivew & Presentation * Chapter 5 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを
10	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ①Toyama, a prefecture of welfare／福祉の富山
11	Chapter 6 Welfare & Sports 福祉・スポーツ②Toyama is active in sports／スポーツが盛んな富山
12	Reivew & Presentation * Chapter 6 の中から個々の学生が選んだテーマについて、5分間のプレゼンテーションを
13	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て①One of the best places to live／住みよさ全国トップ
14	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て②A prefecture of education and passion to develop peo
15	Chapter 7 Lifestyle & Child-raising 生活・子育て③Traditional culture of slow food／伝統が今に生きるス

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１． 課 題 30 %	Dictation（書き取り）のほか、暗唱、朗読などの Recitation （口頭発表）、ロールプレイ 、グループワークを評価します
	２． 授業姿 30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようとする態度などです。
	３． テスト 40 %	各単元（Unit）終了ごとに Mini Test を行います
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実	初回の授業でTOEIC Bridge の模擬試験を実施し、実力測定とします。後期1月にTOEIC テストを実施します	

ホテル・ブライダル 学科				2年課程				1	年
科 目 名	EIC L&S ⅡA						学期	前	期
担当教員	TBA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	ビジネスシーンにおける英語発信力を磨く								
授業内容	さまざまなビジネスシーンに特有な語彙・表現等について学び、使いこなせるまでにマスターする								
学習目標	ビジネスシーンに特有な語彙・表現等に習熟し、それらを使って、シーンに応じて自分の考えや思いを表現								
使用テキス	English at Work 3, Cengage Learning								

週数	授業計画
1	（EW）,Unit 1 Communication on the Phone: Meeting (Re)arrangements
2	（EW）,Unit 2 Introducing Companies and Products: Consumer Problems
3	（EW）,Unit 3 Cocializing with Confidence: Icebreaking, Do's and Don'ts
4	Review and Presentation
5	（EW）,Unit 4 JobInterviews:InterviewSkills
6	（EW）,Unit 5 Business Writing: Advertising
7	（EW）,Unit 6 Job Hunting: Looking Online
8	（EW）,Unit 7 Powerful Presentations: Pitching
9	（EW）,Unit 8 Participating in a Meeting: Wrapping Things Up
10	Review and Presentation
11	（EW）,Unit 9 Negotiating for Success: Making a Deal
12	（EW）,Unit 10 Traveling on Business: Trade Shows
13	（EW）,Unit 11 Technology: :Social Media
14	（EW）,Unit 12 Solving Problems: Business Problems
15	Review and Presentation

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基	１． 課 題 30 %	各単元の語彙・表現について、自分で文を作り、発言できるようにする
	２． 授業姿 30 %	出席と授業中の積極性を評価します。授業中の積極性としては、自発的な質問、自主的な取り組み姿勢、ミスを恐れないで発話しようとする態度などです。
	３． テスト 40 %	各単元（Unit）終了ごとに Mini Test を行います
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
授業実		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	サービス接遇ＩＡ							学期	前　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド３級 サービス接遇検定受験ガイド２級 サービス接遇検定実問題集３級 サービス接遇検定実問題集１−２級								

週数	授業計画
1	３級学習 サービススタッフの資質 ①（必要とされる要件ほか）
2	３級学習 サービススタッフの資質 ②（従業要件ほか）
3	３級学習 専門知識 ①（サービスの知識ほか）
4	３級学習 専門知識 ②（従業知識ほか）
5	３級学習 一般知識（社会常識ほか）
6	３級学習 対人技能 ①（人間関係ほか）
7	３級学習 対人技能 ②（接遇知識ほか）
8	３級学習 対人技能 ③（話し方ほか）
9	３級学習 対人技能 ④（服装ほか）
10	３級学習 実務技能 ①（問題処理ほか）
11	３級学習 実務技能 ②（環境整備ほか）
12	３級学習 実務技能 ③（金品管理ほか）
13	３級学習 実務技能 ④（社交業務ほか）
14	２級学習 サービススタッフの資質 前半（必要とされる要件ほか）
15	２級学習 サービススタッフの資質 後半（従業要件ほか）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業	サービス接遇検定 6月 検定目標3級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	サービス接遇ＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド２級 サービス接遇検定実問題集１−２級								

週数	授業計画
1	２級学習 専門知識 ①（サービ知識ほか）
2	２級学習 専門知識 ②（従業知識ほか）
3	２級学習 一般知識（社会常識ほか）
4	２級学習 対人技能 ①（人間関係ほか）
5	２級学習 対人技能 ②（接遇知識ほか）
6	２級学習 対人技能 ③（話し方ほか）
7	２級学習 対人技能 ④（服装ほか）
8	２級学習 実務技能 ①（問題処理ほか）
9	２級学習 実務技能 ②（環境整備ほか）
10	２級学習 実務技能 ③（金品管理ほか）
11	２級学習 実務技能 ④（金品搬送ほか）
12	２級学習 実務技能 ⑤（社交業務ほか）
13	準１級 基本言動 ①（入室ほか）
14	準１級 基本言動 ② （企業連携）
15	準１級 基本言動 ③（企業連携）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標 検定・課外授業	サービス接遇検定 11月検定目標2級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　２　年

科 目 名	サービス接遇ⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の心構えを学習する								
授業内容	ホテル業界・ブライダル業界で必要な顧客に満足を与える行動をサービス接遇の観点から学ぶ								
学習目標	ホテル業界・ブライダル業界で必要なサービス接遇の知識と行動基本姿勢を理解する								
使用テキスト	サービス接遇検定受験ガイド準１級級 サービス接遇検定受験ガイド１級 サービス接遇検定実								

週数	授業計画
1	準1級 接客応答
2	準1級 接客応答
3	準1級 接客応答
4	準1級 接客対応
5	準1級 接客対応
6	準１級検定対策総仕上げ
7	１級 サービススタッフの資質
8	１級 専門知識（サービス知識）
9	１級 専門知識（従業知識）
10	１級 一般知識（社会常識）
11	１級 対人技能（人間関係ほか）
12	１級 対人技能（接遇知識ほか）
13	１級 実務技能 ①（問題処理ほか）
14	１級 実務技能 ④（金品搬送ほか）
15	１級検定対策講義

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	演習課題の取り組み姿勢
	2. 授業姿　30 %	出席状況・授業態度・言葉遣い
	3. テストそ　40 %	実技試験と期末試験の総合判定
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業	サービス接遇検定 6月 検定目標１級合格	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	フラワーアレンジメントⅡA							学期	前　期
担当教員	井波 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	婚礼で必要な知識としてブライダルシーンでのフラワーアレンジやブーケの基本テクニックを								
授業内容	フラワーアレンジメントの歴史や基本的な技法を知りブライダルシーンでのアレンジやブーケ								
学習目標	様々な花の種類に合ったアレンジができるようになる								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）
2	ファンデーションワークとミニブーケ（生花）
3	ラウンドアレンジ（生花）
4	ラウンドアレンジ（生花）
5	ラウンドアレンジ（プリザ）
6	ラウンドアレンジ（プリザ）
7	ワイヤリング＆テーピング コサージ作り（生花）
8	ワイヤリング＆テーピング コサージ作り（生花）
9	ラウンド花束・スパイラル（生花）
10	ラウンド花束・スパイラル（生花）
11	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）
12	ギフトアレンジ BOXフラワー（生花）
13	キャンドルフラワー（生花）
14	キャンドルフラワー（生花）
15	パーティーフラワー（生花）

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	
	2. 授業姿　30 %	
	3. テストそ　40 %	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダルビューティ I A							学期	前　期
担当教員	宮西 和孝	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的テクニックを身を学習する								
授業内容	道具の使い方について学ぶ								
学習目標	基本的テクニックを実際に体験し理解する								
使用テキスト	必要に応じてプリント配布								

週数	授業計画
1	オリエンテーション 道具の確認
2	道具の使い方 ① アイロン
3	道具の使い方 ② ブラシ・ピン・ゴム
4	基本練習 ① ポニーテール
5	基本練習 ② ポンパドール
6	基本練習 ③ 編み込み
7	基本練習 ④ 付け毛
8	スタイル作り ① シニヨン
9	スタイル作り ② トップ
10	スタイル作り ③ サイド
11	スタイル作り ④ バック
12	ブライダルスタイル ①
13	ブライダルスタイル ②
14	ブライダルスタイル ③
15	実技試験

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	課題の提出、出来栄え
	2. 授業姿　30 %	忘れ物の状態 受講態度 出席率
	3. テストそ　30 %	理解度
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ブライダルビューティ I B							学期	後　期
担当教員	高桑 裕美	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	メイクの基礎を学習する								
授業内容	メイクの知識と技術を学ぶ								
学習目標	メイクの楽しさを実感し、メイクの必要性を理解する								
使用テキスト	プリント配布								

週数	授業計画
1	メイクの基礎知識
2	顔の造形理論
3	アイブロウスタイリング
4	ベースメーキャップ基本
5	ベースメーキャップ応用
6	ポイントメーキャップの基本・応用
7	相モデルでメーキャップ練習① ナチュラル
8	相モデルでメーキャップ練習② ナチュラル
9	相モデルでメーキャップ練習③ キュート
10	相モデルでメーキャップ練習④ キュート
11	相モデルでメーキャップ練習⑤ クール
12	相モデルでメーキャップ練習⑥ クール
13	確認テスト
14	イメージメイク作り①
15	イメージメイク作り②

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	
	2. 授業姿　30 %	
	3. テストそ　40 %	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	ICT活用ⅡA							学期	前　期
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選	単位数	1
学習目的	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目的とする。								
授業内容	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方、訴え方などプレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける								
学習目標	企画提案をはじめとする伝達能力全般の向上を目標とする。								
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション＋PowerPoint2016（Windows10対応）								

週数	授業計画
1	プレゼンテーションとは？
2	プレゼンテーションの基本（パワーポイントの基本）
3	プレゼンテーションの基本（効果的なプレゼンテーション資料作成 図・グラフ・アニメーション／テキ
4	個人発表課題 □･ テーマを考える（時間、目的、聞き手）□･ 素材を集める（自分の言いたいことを裏付
5	個人発表課題 パワーポイント制作①
6	個人発表課題 パワーポイント制作②
7	２年生の実習報告会①（聴く、考える、質問する）
8	２年生の実習報告会②（聴く、考える、質問する）
9	個人発表課題 発表
10	グループ発表課題□･ テーマを考える（時間、目的、聞き手）□･ 素材を集める（自分の言いたいことを裏
11	グループ発表課題 パワーポイント制作①
12	グループ発表課題 パワーポイント制作②
13	グループ発表課題 発表
14	プレゼンテーションの事例・テンプレート①
15	プレゼンテーションの事例・テンプレート② まとめ

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題 40 %	・授業内課題の提出 ・宿題課題の提出（期限までの提出状況）
	2. 授業姿 30 %	・授業への参加状況（出席や受講態度、忘れ物および積極的な取組み度）
	3. テストそ 30 %	・期末試験結果 ・課題の達成度
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル･ブライダル 学科　　2年課程　　2　年

科 目 名	ICT演習ⅡA							学期	前　期
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業においてITを利活用する実践的な知識・スキルを学習する。								
授業内容	企業において必須の技術である表計算ソフト、エクセルを用いて実践的な資料を作成する技術を身につける。								
学習目標	エクセルを使用して、データ作成・グラフ作成・簡単な関数を用いた計算ができる。								
使用テキスト	全学科：30時間でマスター Excel2013（Windows8対応）インターナショナルを除く学科：日商PC検定試験 データ活用 3級 公式テキスト＆問題集 Microsoft Excel 2013対応　日商PC検定試験 知識科目 3級 公式試験問題集（文書作成・データ活用・プレゼン資料作成））								

週数	授業計画
1	第1章Excelの基礎知識
2	第2章Excel入門
3	第3章ワークシートの活用（１）
4	第3章ワークシートの活用（１）
5	第3章ワークシートの活用（１）
6	第4章ワークシートの活用（２）　セルの絶対参照
7	第4章ワークシートの活用（２）　セルの絶対参照
8	第4章ワークシートの活用（２）　端数処理
9	第4章ワークシートの活用（２）　端数処理
10	第4章ワークシートの活用（２）　IF関数
11	第4章ワークシートの活用（２）　IF関数
12	第5章グラフ（１）
13	第5章グラフ（２）複合グラフ
14	第７章データベース オートフィルタ・並べ替え
15	第７章データベース オートフィルタ・並べ替え

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　40 %	各授業における課題提出（期限厳守） 確認テスト結果
	2. 授業姿　30 %	授業への積極参加 クラスへの協力度 教科書、パソコンその他忘れ物の有無
	3. テストそ　30 %	検定を受験する学科は検定結果 受験しない学科はテスト結果
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングＩＢ							学期	後　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育								
授業内容	ワークを通して観光業のマーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	マーケティングとは(活動の種類や効果について
2	観光業におけるマーケティングとは何か
3	観光業におけるＳＷＯＴ分析
4	観光業におけるＳＷＯＴ分析
5	観光業におけるＳＷＯＴ分析
6	観光業におけるＳＴＰマーケティング
7	観光業における４Ｐ(観光地や観光コース、イベント)
8	観光業における４Ｃ(観光地や観光コース、イベント)
9	観光業をマーケティングの理論に基づき分析
10	外国人観光客について(主要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、
11	外国人観光客について(主要国の国の特徴や観光動向について(食文化、生活習慣、言語、国民性、経済、
12	富山県を訪れる外国人に好まれる観光プラン作成
13	イノベーションとは
14	インバウンド対策を考えた観光プランの作成とコース分析
15	観光プランのプレゼンテーション

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストそ　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	ホテルブライダルマーケティングⅡA							学期	前　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育								
授業内容	ワークを通して観光マーケティングの意味や種類、考え方を学ぶ								
学習目標	マーケティングに関する用語や概念を身に付け、新たな観光プランの創出を行う								
使用テキスト	オリジナルテキスト								

週数	授業計画
1	富山県の観光地の再体験
2	富山県の観光地の再体験
3	富山県とバンクーバーの違いについて （客層・STP・4P・4C）
4	富山県とバンクーバーの違いについて （商品アイデア・方法）
5	富山県とバンクーバーの違いについて （食・生活週間・言語・国民性・経済・宗教）
6	富山県とバンクーバーの違いについて （歴史・特産品・伝統・行事・宿泊施設・SNS活用）
7	富山県とバンクーバーの違いについて ビジネスモデル（商流・キーマン）
8	富山県の観光に関する課題と分析
9	1年前期に作成した観光プランの再構築
10	SWOT分析チェック
11	商品・サービス差別化
12	観光プランを英語でプレゼンテーション
13	観光プランを英語でプレゼンテーション
14	プレゼンテーション発表
15	プレゼンテーション振返り

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿　30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。
	3. テストそ　40 %	発表内容、総括記録、各自実施レポート
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	色彩ＩＡ							学期	前　期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定３級テキスト、色彩検定３級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	自己紹介、カラーカードを貼る
2	自己紹介、カラーカードを貼る
3	カラーカードを貼る
4	カラーカードを貼る
5	カラーカードを貼る
6	色のはたらき
7	色のはたらき
8	光と色
9	光と色
10	眼のしくみ
11	眼のしくみ
12	混色
13	混色
14	色の三属性
15	色の三属性

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2. 授業姿　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3. テストそ　20 %	期末テスト結果を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業	AFT色彩検定３級進行状況により変更する場合があります。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	色彩ＩＢ							学期	後　期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
授業内容	求められるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目標	色彩とは何か、応用的な理解ができ、実践に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定３級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								

週数	授業計画
1	PCCSの理解と色彩調和
2	PCCSの理解と色彩調和
3	色彩心理
4	色彩心理
5	配色イメージ
6	配色イメージ
7	ファッションと色彩
8	ファッションと色彩
9	インテリアと色彩
10	インテリアと色彩
11	慣用色名
12	慣用色名
13	検定に向けての学習
14	検定に向けての学習
15	検定に向けての学習

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　50 %	レポート、小テスト結果等を評価する
	2. 授業姿　30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する
	3. テストそ　20 %	期末テスト結果を評価する
	課題･テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業	AFT色彩検定３級進行状況により変更する場合があります。	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ウエディングスビューティフルＩＡ						学期	前　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する							
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史，慣習を学ぶ							
学習目標	ウエディングの現場で必要な専門知識やマナーを理解する							
使用テキスト	ウエディングスビューティフルＡコース～Ｄコース							

週数	授業計画	事前・事後の学習
1	第1章 ビジネスプランの展開 挙式	
2	第2章 ビジネスプランの展開 挙式	
3	第2章 メンタルパワー 目標設定の大切さ	
4	第2章 メンタルパワー 成功の可能性を広げる	
5	第3章 結婚式の専門的知識 プランナーの役割	
6	第3章 結婚式の専門的知識	
7	第4章 コミュニケーシヨンスキルの向上	
8	第4章 効果的な話し方	
9	第5章 結婚式の慣習	
10	第5章 まとめ レポート	
11	第6章 本当の自分 自己分析 肯定的な性質と否定的な性質	
12	第6章 本当の自分 自己分析 他者から見た自分	
13	第7章 テーブルトップとテーブルウェア	
14	第8章 テーブルトップとテーブルウェア	
15	まとめ	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	まとめ レポート 課題
	2. 授業姿勢 30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい
	3. テストその 20 %	理解度確認テスト
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・	ＷＢＷ認定ウエディングスペシャリストディプロマ	

ホテル・ブライダル 学科　　2年課程　　1　年

科 目 名	ウエディングスビューティフルＩＢ							学期	後　期
担当教員	髙野 直人	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
学習目的	ウエディング業界で必要な婚礼の専門知識と心得を学習する								
授業内容	ウエディング業界で働くために必要なメンタルパワーや婚礼の歴史，慣習を学ぶ								
学習目標	ウエディングの現場で必要な専門知識やマナーを理解する								
使用テキスト	ウエディングスビューティフルＡコース～Ｄコース								

週数	授業計画	事前・事後の学習
1	8章 挙式	
2	8章 挙式	
3	9章 結婚式の演出	
4	10章 結婚式の演出	
5	10章 結婚式の伝統や慣習	
6	11章 結婚式の伝統や慣習	
7	11章 マネジメントスキルの向上	
8	12章 マネジメントスキルの向上	
9	12章 ビジネスフォーム	
10	13章 ウエディングファッション	
11	14章 ウエディングファッション	
12	14章 披露宴	
13	15章 披露宴	
14	15章 招待状	
15	まとめ	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課 題　50 %	まとめ レポート 課題
	2. 授業姿勢 30 %	出席状況・授業態度・言葉づかい
	3. テストその 20 %	理解度確認テスト
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	キャリア支援ＩＡ							学期	後　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動で早期内定を獲得できるよう、自己分析や企業研究などの準備をすすめる								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	1年次の終わりまでに、自己分析・企業研究を完成させ、2年次からの説明会参加や企業訪問に備える								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	インターンシップとは
2	インターンシップの課題と種類
3	自発的なインターンシップ
4	「働く」意味を考える
5	「働く」意味を考える
6	仕事の要素
7	社会人基礎力
8	社会人基礎力
9	業界研究
10	業界研究
11	業界研究
12	履歴書作成
13	履歴書作成
14	エントリー対策
15	エントリー対策

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	１．課　題　70 ％	実習先からの評価をもとに算出
	２．授業姿　30 ％	出席率などから算出
	３．テスト　 0 ％	
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・		

ホテル・ブライダル 学科　　2　　年

科 目 名	キャリア支援ⅡA							学期	前　　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動で早期内定を獲得できるよう、自己分析や企業研究などの準備をすすめる								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	1年次の終わりまでに、自己分析・企業研究を完成させ、2年次からの説明会参加や企業訪問に備える								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	ビジネスマナー（会社訪問）
2	ビジネスマナー（会社訪問）
3	面接指導
4	面接指導
5	面接指導
6	面接指導
7	面接指導
8	キャリアについて
9	ビジネスとコミュニケーション 会話
10	ビジネスとコミュニケーション クレーム処理
11	ビジネスとコミュニケーション 会議
12	ビジネスとコミュニケーション 電話応対
13	ビジネスとコミュニケーション 電話応対
14	実践とビジネスツール ビジネス文書
15	実践とビジネスツール ビジネス文書

	評価項目/割合	評　価　内　容
評価基準	1. 課　題　　70 %	実習先からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　30 %	出席率などから算出
	3. テストそ(　0 %	
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定･課外授業実施予定･		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	インターンシップ海外（ⅡＢ）							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必	単位数	１０
学習目的	外国人旅行者の一人ひとりにあった的確な対応と提案から「顧客創造」を実現できる人材の育								
授業内容	カナダでのワーキングホリデーと観光を通して課題を進める								
学習目標	富山県とカナダの観光地を体験、考察し新たな観光プランを創出する								
使用テキスト	オリジナルテキスト（ワーキングホリデープログラム）								

週数	授業計画
1	ワーキングホリデー
2	ワーキングホリデー
3	ワーキングホリデー
4	ワーキングホリデー
5	ワーキングホリデー
6	ビジネスモデルとは□ろいろな業界のビジネスモデルについて□
7	観光業の商品（サービス）の構成
8	売上・経費・利益の仕組み□
9	利用者の分析□(利用者の属性）
10	観光スポット体験
11	観光スポット体験
12	アクティビティ体験
13	アクティビティ体験
14	カナダの観光スポットやアクティビティの分析
15	カナダの観光スポットやアクティビティの分析

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課　題　７０ ％	授業内の課題の取組み
	２．授業姿　30 ％	言葉づかい、態度、マナー
	３．テストそ０　％	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　2　年

科 目 名	インターンシップ国内（ⅡＢ）							学期	後　期
担当教員	髙野　直人	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	選択必	単位数	１０
学習目的	授業で学んだホテルの知識を確認することを目的に現場で実践躬行することを目的とする。								
授業内容	現場の雰囲気、仕事内容を体験し、ホテル・ブライダル業界の実態について学習する。								
学習目標	授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。								
使用テキスト									

週数	授業計画
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題 70 %	授業内の課題の取組み
	2. 授業姿 30 %	言葉づかい、態度、マナー
	3. テストそ0　%	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	表現力ＩＡ							学期	後　　期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	学習を通して、相手に伝わる表現力を養う。人前で堂々と発表できるようになる。								
授業内容	歌唱、ダンス（コンテンポラリーダンス、シアターダンス）、演劇といった様々な表現を楽しく学ぶ。ストレッチ、呼吸、滑舌、発声等、基礎から実践的に学習し、最終的には舞台のワンシーンを創作し、発表する。								
学習目標	学習を通して、明るい表情、相手に伝わる声、正しい姿勢、開かれた心など、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体をつくる。他者との関わりの中でコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力、人前で堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	楽譜、オリジナルテキスト等(授業内容に合わせて、適宜配布。)								

週数	授業計画
1	平田オリザ先生授業（前期7月頃：表現力ＩＡのコマ内で行なう。）
2	イントロダクション～自己紹介、授業内容の説明。シアターゲーム等。
3	ダンス①～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界を体験する。
4	ダンス②～身体表現のひとつであり、既成のスタイルやテクニックのないコンテンポラリーダンスを学ぶ。言葉のいらない表現の世界を体験する。
5	ソング①～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。
6	ソング②～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。
7	ソング③～ストレッチ、呼吸、滑舌、発声、歌唱を学ぶ。音楽表現を楽しむ。
8	演劇①～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。
9	演劇②～台詞・演技・朗読等を通して演劇に親しみ、相手に伝わる表現を学ぶ。
10	中間発表～歌・台詞・演技・朗読等を発表する。
11	創作①～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。
12	創作②～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。
13	創作③～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。
14	創作④～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。
15	創作⑤～演劇やミュージカルのワンシーンを実際に演じてみる。

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	40 %	レポートの提出状況、実技課題への取り組み方
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻　②挨拶・受講態度　③前向きに挑戦する姿勢　④授業への積極的、協力的な参加　⑤忘れ物がないか 以上の観点から評価する。
	3. テストその他	30 %	成果発表、実技テスト等。
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合あり。		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	NIB　ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	長谷川　万葉　木村　聡　黒田　哲也	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	メディアに対する知識理解を深め、情報を読み取る力を高める。地域社会の課題を学ぶとともに、読解力、思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。								
授業内容	新聞記事からテーマを抽出し、書かれている内容をもとに自分の考えを深め、文章にまとめて発表する								
学習目標	自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることが出来る。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。								
使用テキスト	新聞を教材として使用								

週数	授業計画
1	メディア論①メディアの特性を学び活用する
2	ﾒﾃﾞｨｱ論②新聞の読み方。グループスクラップ
3	ﾒﾃﾞｨｱ論③文章の要約、見出し付けで読解力アップ
4	ﾒﾃﾞｨｱ論④文章力アップ、小論文の書き方
5	ご当地検定に挑戦
6	地域の課題を学び　意見交換、発表①
7	地域の課題を学び　意見交換、発表②
8	地域の課題を学び　意見交換、発表③
9	地域の課題を学び　意見交換、発表④
10	ミニ新聞を作ろう
11	18歳選挙権を考える
12	若者の投票率を考える
13	1分間スピーチ、ミニディベート
14	グループディスカッション
15	グループ単位によるプレゼンテーション

	評価項目/割合		評　価　内　容
評価基準	1. 課　題	30 %	提出物
	2. 授業姿勢	30 %	出席率・積極的なコミュニケーションが出来る。
	3. テストその他	40 %	発表
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　1　　年

科 目 名	キャリア支援ＩＡ							学期	前　　期
担当教員	ADおよび企画推進部	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について（グループワーク）
2	働くことの責任と意義（グループワーク）
3	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ（グループワーク）
4	会社の仕事の決まりやしくみを理解する（グループワーク）
5	人間関係とコミュニケーション（グループワーク）
6	ビジネスマナーの基本
7	【礼儀としての身だしなみ】☒ーツ着こなしセミナー
8	仕事の進め方（５Ｗ２Ｈ）（ＰＤＣＡ）と報告・連絡・相談
9	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。
10	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討
11	インターンシップに向けての自己分析（エントリーシート作成）
12	インターンシップの事前授業
13	インターンシップに向けての目標設定
14	インターンシップ説明会について
15	自分の強み・弱みを知り、自身の「これから」について考える

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　40 %	出席率などから算出
	3. テストその他　30 %	
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	キャリア支援ＩＢ							学期	後　　期
担当教員	ADおよび企画推進部	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Ｂｉｔ就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る
2	インターンシップの振り返り
3	業界・職業研究
4	企業研究
5	履歴書・エントリーシートの書き方①
6	面接対策講座① （各種面接の種類や対策、所作について学ぶ）
7	面接対策講座② （各種面接の種類や対策、所作について学ぶ）
8	模擬面接①
9	模擬面接②
10	適性検査能力試験　模擬受験①、Web性格診断
11	適性検査能力試験　対策講座
12	就職集会 「企業説明会・企業見学の活用講座」、第一印象の重要性、好印象を与えるポイントについて
13	今後の就活にむけて（求人票の見方、応募書類の発送、注意点）
14	今後の就活にむけて（選考から内定獲得まで、注意点）
15	求人マッチングシステム「UMP」活用講座・求人票の見方や求人の種類について

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　40 %	出席率などから算出
	3. テストその他　30 %	
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	キャリア支援ⅡＡ							学期	前　期
担当教員	ADおよび企画推進部	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己の将来を明確にし、希望職への内定を目指す。								
授業内容	採用試験対策や採用試験の振り返りを行う。								
学習目標	グループワークを通して、様々な価値観に触れ、お互いの価値観の違いを認め受容する中で、対人関係力を身につける								
使用テキスト	Ｂｉｔ就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】 「目指す職業」「卒業後の自分」について自己分析する（ライフプラン）
2	就職活動の報告書の提出や各種証明書の発行について
3	適性検査能力試験　模擬受験②
4	会社は自分のキャリア形成の場、自分のビジネスキャリアは自分で作る
5	ビジネス会話の基本
6	お客様に喜ばれる接客とは（グループワーク）
7	不満やクレームを防ぐ方法、再発防止について（グループワーク）
8	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ①　（グループワーク）
9	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ②　（グループワーク）
10	【マネジメントの基本】 PDCAサイクル、目標から計画を立てる
11	【マネジメントの基本】 計画の重要性について学び採用試験後の振り返りと対策の重要性について知る
12	採用試験の振り返り
13	採用試験の振り返り
14	企業説明会
15	企業説明会

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	1. 課　題　30 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢　40 %	出席率などから算出
	3. テストその他　30 %	
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　**コースを選択してください（DELで消去）**　　2　年

科 目 名	キャリア支援ⅡＢ							学期	後　期
担当教員	ADおよび企画推進部	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。								
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践								
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。								
使用テキスト	Ｂｉｔ就職ハンドブック								

週数	授業計画
1	【オリエンテーション】①分間スピーチ
2	社会人・職業人としての心構え
3	人間関係の築き方について
4	人間関係の築き方について
5	社会人講話、地域連携
6	社会人講話、地域連携
7	社会人講話、地域連携
8	就業規則と労働法：ワークルールについて学ぶ
9	１分間スピーチ
10	社会人になる為のビジネスマナー講座①
11	社会人になる為のビジネスマナー講座②
12	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める①
13	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める②
14	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める③
15	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める④

	評価項目/割合		評 価 内 容
評価基準	1. 課　題	30 %	課題プリント等からの評価をもとに算出
	2. 授業姿勢	40 %	出席率などから算出
	3. テストその他	30 %	
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。		
目標検定・課外授業実施予定・その他			

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	データマーケティングＩA							学期	前　　期
担当教員	清水　大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイ、RESASなどを用いて学ぶ。								
学習目標	マーケティングの基礎知識を習得し、専門用語が理解できる。基本的手法や技法を、具体的事例に当て嵌めて考えることができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座　初級編								

週数	授業計画
1	オリエンテーション ・講座の進め方と受講の心構えについて ・講座の目的とゴール（販売業を機軸にDMの基本を学ぶ） ・用語の説明 ・データマーケターとは
2	ビッグデータとは ・ビッグデータとは ・ビッグデータの利用・背景・活用 ・小売業を取り巻く環境の変化
3	データ活用 ・データ活用のステップ ・データの種類（自社データ・公的データ・民間データ） ・データから何が読み取れるか？データの見方の視点 ・RESAS、ウレコンの使い方
4	エクセルハンズオン①　グラフの作成 ・データマーケティングに必要なEXCEL操作（グラフ作成） ・グラフの種類とそれぞれの使い方を知る ・〈PW〉ウレコンの表を選びグラフが何を示しているかをパートナーに説明する。
5	実習 ① ・〈ワーク&GW〉ウレコン、ドルフィンアイを使用する。 ドルフィンアイから、データをダウンロードする。 折れ線グラフを作成し、その折れ線グラフから読み取れることをグループで協議、共有して全体に発表する
6	エクセルハンズオン②　散布図と相関 ・散布図の作り方　・相関係数の意味　・相関と因果 ・〈ワーク〉ドルフィンアイからダウンロードしたデータで相関係数を出して、2つの事項に相関があるか判断する
7	企画提案のための思考法 ・利用者への共感から問題の理解 ・問題解決のためのアイディア出し（ブレインストーミング） ・試作品の提出とフィードバックの収集
8	データ活用と各業界 ・データの利用といろいろな業界を紹介する。 ・小売をベースに講座が進行しているが、その他の業界でもデータ活用がこれからのマーケティングの基礎になることを知る。 ・フィールドワーク（宿題）の説明
9	POSデータ ① ・POSデータとはなにか　・POSデータ分析の重要性　・〈ワーク〉ロコミサイトとPOSデータ ・POSデータの分析の方法と準備
10	POSデータ ② ・POSデータの比較 ・POSデーから見えること① ・〈PW〉POSデータのサンプルからどの数字に注目するか？
11	POSデータ ③ ・POSデータから見えること② ・〈PW〉折れ線グラフから何が読み取れるか？ ・売上げと価格
12	フィールドワークの発表 ・事前に課題として与えておいた近所のドラッグストアやスーパーの調査（どんなものが売っているか？どんな売り場構成をしているか？競合店舗はあるか？など）を発表する。
13	実習 ② ・〈GW〉サンプルデータを分析してグラフ作り、売れ行きのよいカテゴリはなにかを見つける。グループ内で協議・共有して、そのカテゴリを見つけたポイントや特徴はなにかを発表する。
14	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。
15	実習 ③ ・〈GW〉サンプルデータを分析して売り場に何を置いたらよいかを選定し、全体に発表する。他グループの差を見つけ、選定方法や方針の違いについてディスカッションを行なう。

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課 題　30 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	２．授業姿勢　30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	３．テストその他　40 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		

ホテル・ブライダル 学科　　1　　年

科 目 名	データマーケティングＩＢ							学期	後　　期
担当教員	清水　大樹	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。								
授業内容	データマーケティングの基礎をおさえ、ドルフィンアイ等のビッグデータを活用し、データの分析を行う。								
学習目標	マーケティングにおけるデータの取り扱いについて学び、実際の事例やデータを題材にして、仮設を立て分析することができる。								
使用テキスト	データマーケター養成講座　初級編								

週数	授業計画
1	マーケティングの基礎① ・マーケティングとはなにか ・マーケティング1.0~4.0 ・マーケティングの4P
2	ID-POSデータ ① ・ID-POSデータとはなにか ・POSデータとID-POSデータの違い ・ID-POSデータから見えること①
3	ID-POSデータ ② ・売上げを構成する要素（因数分解）① ・〈ワーク〉売上げ分解ツリーを作ってみよう
4	ID-POSデータ ③ ・購入率とリピート率 ・売れ続ける商品
5	マーケティングの基礎② ・これからのマーケティング
6	ID-POSデータ ④ ・併売とはなにか（考え方の基礎） ・リフト値 ・〈ワーク〉リフト値を求めてみよう
7	実習 ④ ・〈ワーク&GW〉RESASに触れてみる。ドルフィンアイを駆使してテーマに沿ったデータを探し、仮説をたて、グループとして発表する。
8	外部データの利用 ① ・外部データとはなにか ・気象データの利用
9	外部データの利用 ② ・〈ワーク&GW〉サンプルデータから商品を確定し、どうしてその商品に決めたのかを協議・発表する。 ・ウェザーマーチャンタイジング ・商品前線
10	実習 ⑤ ・〈ワーク&GW〉外部データを利用した売り出し時期の選定
11	マーケティングの基礎③ ・代表値について(平均・中央値・最頻値) ・（GW）ペルソナを作ってみる
12	課題発見と提案 ① ・〈ワーク&GW〉与えられたデータを分析し、ペルソナを作成して課題を解決する。
13	課題発見と提案 ② ・〈GW〉分析のまとめを行い、発表準備にとりかかる（発表用の模造紙作成とグループ内での発表の予行演習）
14	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント
15	課題発見と提案 ③ ・〈GW〉発表とその発表に対するコメント

	評価項目/割合	評 価 内 容
評価基準	１．課 題　30 %	ワークシート等の状況を評価する。 レポート等の状況を評価する。
	２．授業姿勢　30 %	出席状況、発言の積極性 、授業に取り組む姿勢、 締め切りの厳守を評価する。
	３．テストその他　40 %	プレゼン 発表での評価、グループワークでの協力度 各章ごとの確認テスト及び 期末試験
	課題･テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。	
目標検定・課外授業実施予定・その他		